

みやぎ農業振興公社に対する経営評価委員会意見

項目	意見	対象
公社の役割再定義について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検討委員会に県が積極的に関与し、県の畜産振興及び農業農村整備施策を推進する上で、団体のノウハウを最大限活用した事業の最適化を図るとともに、近年の累積赤字を踏まえ、各5事業の役割について抜本的な再定義を行うこと。</li> <li>・公社独自の公益的機能を踏まえた県民利益への影響を考慮しつつ、県財政への負荷を抑制するための事業の「選択と集中」を断行すること。</li> <li>・仙台牛ブランドの振興や畜産経営担い手育成事業における公社の使命・役割を再整理し、今後の事業方向性を明確にすること。</li> </ul>	団体 ・県
事業別の収支明確化と受託料の適正化について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受託事業の採算管理の重要性を踏まえ、適正な業務量の確保と受託料の収受に努めるとともに、社会情勢に伴うコスト増加の根拠を明確にした上で、適正な受託額の設定や価格交渉、契約変更の働きかけ及び収支の実行管理を徹底すること。</li> <li>・全5事業のそれぞれにおいて、事業別に収支見通しを立てた上で、赤字額や赤字割合の許容限度を明確化するとともに、作業料金の適正化や作業員の確保を通じて、受託事業の収益性を向上させること。</li> <li>・基盤整備事業における繁忙期の外部委託に伴う収支悪化を踏まえ、受託料水準の妥当性や、採算性を考慮した受託の在り方について見直しを行うこと。</li> </ul>	団体 ・県
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肉用牛生産振興事業の縮小に伴う収益及び経費の変動額を具体的に把握し、発生する赤字を補填するための財源確保策について、事前に整理を行うこと。</li> </ul>	団体
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収益が悪化している肉用牛生産振興事業及び基盤整備事業について、県の財政的支援の範囲を明確化するとともに、他団体の先進事例の調査や、仙台牛のブランド力向上といった非財政的支援についても併せて検討すること。</li> </ul>	団体 ・県
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・白石牧場における増頭計画から縮小方針への転換について、現行の中期経営プランとの整合性を整理するとともに、今回の縮小計画における実施期間及び到達目標を明確にすること。</li> <li>・人件費負担の増大を踏まえ、既存職員の再教育や同質業務の兼任化による業務効率化を検討し、人的資源の最適化を図ること。</li> </ul>	団体
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仙台牛のブランド向上や販路拡大、及び WCS（ホールクロップサイレージ）の普及が、農畜産家や公社の収益向上、耕作地保全等に資することを踏まえ、公社事業を含めた各施策の継続的な支援及び推進に努めること。</li> </ul>	県